

久喜市学校給食費を完全無償化するよう求める請願書

いま、久喜市でも、物価高騰で市民の暮らしと経営は大きな打撃を受けています、コロナ禍での地域経済の疲弊が回復していない時だからこそ、暮らしを後押しする応援策が必要です。とりわけ、子どもにとってかけがえのない大切な学校給食ですが、年間4万円から5万円ともなれば、この負担は決して軽くありません。こうしたもとの、小学校・中学校とも給食費を無償化している自治体が254に広がっています。報告によれば、小・中学校とも給食費が無償の自治体は254、小学校のみは6、中学校のみは11でした。青森市（人口27万人）や山口県岩国市（同13万人）など、大きな自治体も無償。東京都葛飾区（同46万人）や千葉県市川市（同49万人）などでは2023年度から無償です。

少しでも保護者負担を減らそうと▽半額補助▽第3子から無償▽中3のみ無償一など、一部無償の自治体が多くあります。本市でも、第3子以降の学校給食費を全額補助し、保護者も助かっています。これをすべての子ども対象に「完全無償化」こそが市民の願いであり、「つよい少子化対策」になるものと考えます。よって、以下のことの実現を求めます。

1. 久喜市として、小中学校の学校給食費を制度として、完全無償化すること。
2. 政府に対して、現在政府が公表している少子化対策、そのうち小中学校の学校給食費の無償化について、早期に実施するよう求めること。

（賛同署名）

氏 名	住 所

いただきました署名は、久喜市議会への請願以外には使用しません。

（取り扱い団体）「学校給食費の無償化をめざす久喜市民の会」